

## 災害時「支え合いマップ」づくり事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- 平成19年に「間下区地域福祉活動支援センター」を立ち上げたのをきっかけとし、助け合いの地域づくり活動として、町内単位で「非常時救援マップ」の作成を呼びかけた。しかし、各町内の自主性に任せていたが、進捗がバラバラで、内容も統一性に欠けていた。また、全く進まない町内もあったため、新たに方法を統一して進めることになった。
- 情報の収集やマップの作り方を統一して、区全体で進めることにより、効果的な災害時の支え合いマップを完成させ、地域住民の防災意識の高揚を図った。

### 事業内容

- 区内全世帯にアンケートを実施し、75歳以上の一人暮らし、二人暮らし、家族内の高齢者・子ども及び昼・夜一人暮らし、また病人・障害者の状況等の情報と、マップへの記載承諾を得た。
- 各町内の希望により、全体を45ブロックに分け、アンケート情報、一時避難場所を記載し、マップを作成した。
- 8月19日、各ブロック内全戸にそれぞれの「支え合いマップ」を配布した。
- 8月29日の間下区自主防災訓練時には、マップのブロックごとに一時避難所への避難と安否確認を実施した。



【 支え合いマップ 】

### 事業効果

- 先進他地区のマップを参考に、市全体での統一感を考え、使用する記号は他区で使用しているものと同じものを使い、区内全体で統一した内容のマップが作成できた。
- マップへの情報公開を含め、アンケートへの参加者が90%以上あり、有効なマップとなった。
- 自主防災訓練時の避難者数が750人を超え、例年の3倍以上の参加があり、安否確認等地域の支え合い意識の向上がみられた。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 区民の要望で、ブロックごとに一時避難場所を決めてマップへ記載した。
- 全戸に配布したマップの保管状況が悪く、訂正版発行時、壁に吊るして保管し、いつでも見ることができるように徹底した。
- 現状の支え合いマップのマスターは「紙」であるため、状況の変化に対応した訂正が困難なので、今後マップの電子化により、パソコン上で簡単に変更できるように進めている。

#### 【選定のポイント】

地域住民が手助けを必要とする世帯の情報を共有することで、防災意識と地域で支えあう意識が向上し、災害時に効果的な避難、安否確認が期待できる。

団体名 間下区地域福祉活動支援センター（岡谷市） 連絡先 支援センター事務局 電話 0266-22-2644	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">事業タイプ</td> <td style="padding: 2px;">ソフト事業</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">事業費</td> <td style="padding: 2px;">131,920円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">支援金額</td> <td style="padding: 2px;">103,000円</td> </tr> </table>	事業タイプ	ソフト事業	事業費	131,920円	支援金額	103,000円
事業タイプ	ソフト事業						
事業費	131,920円						
支援金額	103,000円						